



手話サークルに参加しました

私は小学生と中学生の時に、学校の授業の一環として手話を体験しました。そのときは今回の手話サークルと同様、指文字や自分の自己紹介を行いました。友達と楽しく学ぶのも良かったです。今回のように初めて知り合った人たちと学ぶのはより楽しく感じました。非言語的コミュニケーションの一つである手話を通じて人と意思疎通ができるというのは素敵なことだなと感じました。手話を学ぶこと自体滅多にない経験で楽しかったですが、年齢、性別関係なく参加した方々が楽しそうにされている様子を見て、手話サークルの空間そのものがすごく素敵なものだなと思いました。また機会があれば私も手話を学びたいと思います。

香川県立保健医療大学地域健康サポーター実習 奥濱 実月

初めて手話サークルに参加しましたが、基本的なところからゆっくり丁寧に教えてくれるのでとても楽しく活動できました。基本的なあいさつから、自分の名前やしりとりを指文字で表現すること、物や形をどう表現すると相手に伝わるのかを考えながら皆さんと楽しんで手話を学ぶことができ、初めての人でも楽しく参加できる活動だと感じました。私は今回、手話サークルに参加して手話に興味を持つことができました。また、相手とコミュニケーションをとる言語として手話の大切さを知ることができたので参加してよかったと思いました。

香川県立保健医療大学地域健康サポーター実習 松川 りほ



手話サークルでは指文字をしたり、日常生活でよく使う手話を学習しています。今回、学習した中で僕が難しかった手話はコーヒーはいかがですか？という手話でした。手話は、いろいろな伝えかたがあります。まだまだ未熟ですがこれからも手話サークルのみなさんと一緒に、楽しみながら、いろんな手話を覚えていきたいです。

森岡 秀太



リフレッシュ教室・ふうせんバレーサークルに参加しました

ふうせんバレーやリフレッシュ教室を通して、様々な世代の方と関わることができ、貴重な体験をすることができました。高齢の方や障害のある人、子どもたちなどと協力し合い、ふうせんバレーやリフレッシュ教室を行うなかで、身体を動かすことや人と関わることの楽しさを体験することができました。また、私は普段小さい子どもたちと接する機会がないため、一緒に鬼ごっこなど楽しく遊ぶことができ、良い思い出となりました。

香川県立保健医療大学地域健康サポーター実習 小笠原 ほのか



今回、初めてふうせんバレーに参加させて頂きました。ルールの中に”全員が1回はふうせんを触ってから相手のコートに返す”というものがあつた為、満遍なくパスが行き届き、1人ひとりが楽しく試合に参加出来る形になっていると感じました。短い時間でしたが、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

香川県立保健医療大学地域健康サポーター実習 高田 結菜



今回はふうせんバレーに参加させて頂き、ありがとうございました。今回は初めての参加だったので、ドキドキしていましたが、みんな優しく、とても楽しく参加出来ました。

みんなが1人1回ボールにさわるとのルールがあり、“みんなで楽しくできる”“思いやりのあるスポーツ”だと感じました。また機会があれば、ぜひ参加したいです。

香川県立保健医療大学地域健康サポーター実習 木村 海夢

